

第7号 ケアセンター芳川通信

平成 18 年 4 月 発行

冬が終わりを告げ、待ちにまった春がやってきました。例年になく寒さの厳しい冬のあとだけに、施設のサンルームから差し込む暖かな日差しはひととき心地よく感じます。朝食後のひととき、入所者の皆様はそんな陽だまりで日光浴をしながらお話しされたり、時には気持ちよさそうに眠ってしまうお姿も拝見されます。今の季節、太陽の光と暖かさは何よりのご馳走ですね。



二月三日は節分。当センターでも五日、福来を願って豆まきの行事を行いました。当日は鬼に扮した職員に向かって勢いよく豆(本物ではありませんが)を投げつけ、福娘からお菓子を授かる入所者の皆様の元気で楽しそうなお姿が見られました。



館内には1階ホールと2階レクリームにそれぞれ七段飾りのお雛さまが二月中旬から飾られました。入所者の方々は懐かしそうに眺めて話しあったり、前で写真を撮ったりされました。

また三月三日の昼食メニューではひな祭りにちなんでちらし寿司、おやつには甘酒と雛あられをお出し致しました。皆さん童心にもどられて楽しそうにお召し上がりになっていました。

防災訓練

当センターでは年二回定期的に総合防災訓練を実施しています。2月28日には本年度2回目の訓練を実施しました。今回は夜間の火災を想定して、初期消火と入所者様も参加されての避難訓練を実施しました。一月の長崎県での施設火災のように、ひとたび発生すると多くの犠牲者が出るのが老人施設の特徴です。これからも日頃から防災意識を高めるとともに、災害を未然に防ぐ心構えと万が一に備えた訓練を定期的に継続する所存です。

